

TOKYO MAIL NEWS



輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2021.8.31
No.024



8月31日 東地申第4号

その①

「京葉線・武蔵野線の乗務員基地再編について」

に関する申し入れ(その1)を行う!

東京地本は2021年7月8日、会社より京葉線・武蔵野線の乗務員基地再編の概要として「京葉線・武蔵野線の乗務員職場については、安全・安定輸送のさらなるレベルアップを図るとともに、効率的な業務執行体制の実現を目的に京葉運輸区(仮称)を設置する。現在丸の内車掌区・東京電車区が担当する京葉線・武蔵野線業務については、現東京電車区エリアを間内改良し、京葉運輸区(仮称)へ移管し、丸の内車掌区を廃止する。また、東京電車区については、京葉運輸区(仮称)発足後も横須賀線・総武快速線等の運転士業務を担当する区所として存置する。実施時期は2023年上期とし具体的な実施日については決定次第連絡する。さらには、2021年11月23日、現東京電車区の間内改修工事によるサピアタワーへの移転に伴い「折り返し時間」を変更し、運用改正を実施する」との提案を受けました。

しかし、東京電車区では移転先のサピアタワーの職場レイアウトについて、説明されないばかりか「11月23日の運用改正で行路数はどうなるのか」「折り返し時間の変更により徒歩時分が増え、拘束時間が長時間になり睡眠を目的とした乗務の中断時間が減るのではないのか」などといった不安の声が多く上がっています。

グループ経営ビジョン「変革2027」では「仕事を通じた達成感・充足感」および「労働条件の向上」等を通じ、当社グループの社員・家族の幸福を実現することが目指されていますが、今回の提案では具体的な内容が示されていません。また、業務改革・生産性の向上が目的とされ、安全を司る人間への投資や活躍できるフィールドを創ることを怠れば鉄道の安全は確立できません。特に乗務員職場は、乗務中はお客さまの「命」を運ぶことから緊張の連続であり、次の乗務に備えるためにも職場環境の整備は重要であると考えます。そのためには労使協議をしっかりと行い、組合員・社員の不満・不安の解消を図った上で、京葉運輸区(仮称)を安全で安心して働ける労働環境につくり上げていくことでさらなる安全とサービスレベルの向上につなげるためにも東京地本は以下の通り申し入れを行いました。

～ 申し入れ事項は「その②」へ ～

TOKYO MAIL NEWS



輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2021.8.31
No.024



8月31日 東地申第4号

その②

「京葉線・武蔵野線の乗務員基地再編について」

に関する申し入れ(その1)を行う! ~申し入れ事項~

1. 丸の内車掌区、東京電車区が担当している京葉線・武蔵野線業務を京葉運輸区(仮称)に移管し、丸の内車掌区を廃止する本施策の目的を明らかにすること。
2. 業務移管後の京葉運輸区(仮称)、および京葉運輸区(仮称)発足後の東京電車区の安全・サービスのさらなるレベルアップをどのように図るのか明らかにすること。また「効率的な業務執行体制の実現」とはどのようなことを意味するのか具体的に明らかにすること。
3. 他支社における京葉線・武蔵野線業務を担当している乗務員区の基地再編について、進捗状況および、今後の考え方を明らかにすること。
4. 東京電車区のサピアタワー移転に伴う運用改正について、以下の点を明らかにすること。
 - (1)2021年11月23日の運用改正における行路を明らかにすること。また、それぞれの担務の標準数を示すこと。
 - (2)「折り返し時間」の変更に伴う徒歩時分の考え方を明らかにすること。また、東京電車区乗務員の京葉線担当ならびに横須賀・総武快速線担当の際の、それぞれの指定通路、徒歩時分を明らかにすること。さらに、東京駅構内のシャッターが「閉」の場合の指定通路、徒歩時分を明らかにすること。
5. 東京電車区のサピアタワー移転スケジュールを明らかにすること。また、社員個人の荷物の搬出方法を明らかにすると共に、社員自身が搬出する場合は超勤対応とすること。
6. サピアタワー移転後の東京電車区について以下の点を明らかにすること。
 - (1)職場の間内レイアウトおよび設備について明らかにすること。また、そのレイアウト・設備の使用方法是現場社員の意見を反映して進めること。
 - (2)サピアタワー内の寝室数を明らかにすること。また、下記の社員の寝室の場所および、点呼執行箇所ならびにその方法を明らかにすること。
 - ①京葉線並びに横須賀・総武快速線を担当する東京泊の東京電車区乗務員。
 - ②居流し・前泊を行う東京電車区乗務員。
 - ③東京電車区の当直助役。
 - ④東京電車区の指導担当・当務主務等、業務の必要に応じて宿泊する社員。
 - ⑤現行、東京電車区の寝室を使用している東京泊の他区乗務員。
 - ⑥京葉線・東京泊の丸の内車掌区乗務員。
 - (3)現行の東京電車区(東京駅京葉線地下3階)の設備の活用方法を明らかにすること。
 - (4)サピアタワー移転にあたっては、防災訓練を実施し、意識向上を図ること。また、大地震等の災害発生時に備え、非常用品の備蓄を行うと共に、避難ルート・避難場所等の見える化を図り、定例的に訓練を実施すること。
7. 丸の内車掌区、東京電車区の全社員に、本施策実施に向けた社員説明会を行うこと。

鉄道業として重要な「安全性」「専門性」を根底に据えて

京葉運輸区(仮称)を働きがいのある労働環境の実現を目指し、交渉に臨みます!